



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月5日

東

上場会社名 株式会社キムラタン

上場取引所

コード番号 8107

URL <http://www.kimuratan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 九鬼 祐一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 木村 裕輔

TEL 078-806-8234

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	395	△16.5	7	25.8	△36	—	△40	—
2026年3月期第1四半期	473	54.9	6	△69.3	△30	—	△33	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △40百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △33百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△0.15	—
2026年3月期第1四半期	△0.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	9,825	1,605	16.3	5.83
2026年3月期	9,846	1,646	16.7	5.98

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 1,605百万円 2026年3月期 1,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,950	16.5	260	184.9	100	—	25	0.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ―社(社名)― 、除外 ―社(社名)―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	275,393,910株	2026年3月期	275,393,910株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	39,850株	2026年3月期	28,850株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	275,354,180株	2026年3月期1Q	255,775,396株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる情報及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	473	395	△78	△16.5%
営業利益	6	7	0	25.8%
経常利益	△30	△36	△6	—
四半期純利益	△33	△40	△7	—

当グループは、当第1四半期連結累計期間において、以下のとおり各事業の収益性改善および持続的な成長に向けた取り組みを推進いたしました。

不動産事業では、賃貸事業において稼働率の向上及びコスト低減を図るとともに、第2四半期以降の販売拡大に向けた販売用物件の仕込みの強化を推進してまいりました。アパレル事業では事業構造改革と在庫の消化を継続するとともに、ブランド力の強化と新規顧客の獲得に注力してまいりました。ウェアラブル事業では「cocolin」の導入拡大並びに体調管理及び熱中症対策に資する新製品開発を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は3億95百万円（前年同期比16.5%減）となりました。これはアパレル事業における店舗閉鎖及びブランド集約の影響に加え、不動産販売において前期に大きく伸長した反動により売上が減少したことが主な要因であります。

売上総利益率は、不動産事業における改善により前年同期比で4.6ポイント改善したものの、利益額は減収に伴い前年同期比5.8%減の1億58百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、主としてアパレル事業における店舗閉鎖やブランド廃止等の構造改革の進行により前年同期比7.0%減の1億50百万円となりました。

以上の結果、営業利益は7百万円（同25.8%増）と前年同期並みの水準を確保いたしました。一方、借入金に係る支払利息の増加により経常損失は36百万円（前年同期は経常損失30百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は40百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失33百万円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

不動産事業

不動産事業の売上高は3億38百万円（前年同期比13.6%減）、セグメント利益は25百万円（前年同期比8.5%減）となりました。前連結会計年度に不動産販売が大きく伸長したことに伴う在庫減少の影響により、当第1四半期の不動産販売が一時的に減少したことが主要因ですが、賃貸事業の稼働率は安定的に推移しており、リフォーム等の完成工事高も堅調な結果となりました。また、当四半期において在庫の積み増しを進めた結果、仕掛中を含む販売用不動産は前連結会計年度末に比べ増加しており、第2四半期以降の販売拡大につなげてまいります。

アパレル事業

アパレル事業の売上高は47百万円（前年同期比35.9%減）、セグメント損失は15百万円（前年同期は18百万円のセグメント損失）となりました。収益構造の改善に向けて前連結会計年度に実施した店舗閉鎖及びブランドの集約により売上規模は縮小したものの、固定費の削減も進んでおり、アパレル事業の販管費は前年同期比42.6%減となりました。また、将来の収益改善を見据え、積極的な在庫処分を進めた結果、在庫水準は着実に低下しましたが、売上総利益率の低下が影響し、セグメント損失の改善は小幅にとどまりました。一方で、継続ブランド「クーラクール」のブランディング強化と新規顧客の獲得に注力しており、EC販売を中心とした事業運営体制への転換を加速し、早期の赤字縮小と収益構造の抜本的な転換を図ってまいります。

ウェアラブル事業

ウェアラブル事業の売上高は9百万円（前年同期比19.4%増）、セグメント損失は2百万円（前年同期は3百万円のセグメント損失）となりました。

園児見守りサービス「cocolin」の導入施設数は、期首の173施設から当第1四半期末には194施設へ増加し、資本・業務提携先であるミツフジ株式会社との連携による「hamon band」シリーズの拡販にも取り組んでまいりました。さらに2026年6月17日公表の「ウェアラブル事業の新製品開発・事業展開の進捗に関するお知らせ」のとおり、幼児から高齢者まで幅広い世代を対象とした体調モニタリング及び熱中症対策に資する製品の開発も進捗しており、社会課題の解決と事業成長を目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間	増減
総資産（百万円）	9,846	9,825	△20
純資産（百万円）	1,646	1,605	△41
自己資本比率（％）	16.7	16.3	△0.4
1株当たり純資産（円）	5.98	5.83	△0.15
借入金残高（百万円）	7,360	7,372	11

総資産は、前連結会計年度末と比べ20百万円減少し98億25百万円となりました。第2四半期以降の販売拡大に向けて仕入強化を図った結果、販売用不動産及び仕掛販売用不動産が1億61百万円増加しました。一方で、現金及び預金が93百万円減少したほか、減価償却及びのれんの償却等により固定資産が減少したことが主な変動要因であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ20百万円増加し82億19百万円となりました。主として、販売用不動産取得に伴う借入金の増加によるものであります。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失40百万円を計上したことにより、前連結会計年度末と比べ41百万円減少し16億5百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の16.7%から16.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2026年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	413	319
売掛金	23	18
完成工事未収入金	7	4
商品及び製品	215	194
販売用不動産	1,057	1,144
仕掛販売用不動産	134	209
原材料及び貯蔵品	6	6
未成工事支出金	9	4
その他	72	71
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	1,929	1,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,750	3,704
土地	3,490	3,496
その他（純額）	11	11
有形固定資産合計	7,252	7,212
無形固定資産		
のれん	554	541
その他	14	13
無形固定資産合計	569	554
投資その他の資産		
投資有価証券	50	50
破産更生債権等	12	12
その他	88	88
貸倒引当金	△56	△56
投資その他の資産合計	95	94
固定資産合計	7,916	7,861
資産合計	9,846	9,825
負債の部		
流動負債		
買掛金	24	20
工事未払金	14	14
短期借入金	655	767
1年内返済予定の長期借入金	448	444
未払法人税等	27	20
契約負債	10	4
賞与引当金	8	12
その他	146	164
流動負債合計	1,337	1,449
固定負債		
長期借入金	6,256	6,159
その他	606	610
固定負債合計	6,862	6,770
負債合計	8,199	8,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	386	386
資本剰余金	1,341	1,341
利益剰余金	△76	△116
自己株式	△5	△5
株主資本合計	1,646	1,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	1,646	1,605
負債純資産合計	9,846	9,825

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	473	395
売上原価	305	236
売上総利益	168	158
販売費及び一般管理費	162	150
営業利益	6	7
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取保険金	4	0
為替差益	1	-
その他	5	6
営業外収益合計	11	7
営業外費用		
支払利息	33	37
為替差損	-	0
その他	13	14
営業外費用合計	47	52
経常損失(△)	△30	△36
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△29	△36
法人税等	3	3
四半期純損失(△)	△33	△40
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△33	△40

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失 (△)	△33	△40
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
四半期包括利益	△33	△40
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33	△40

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	不動産 事業	アパレル 事業	ウェアラブ ル事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	165	74	8	247	—	247
その他の収益(注) 2	226	—	—	226	—	226
外部顧客への売上高	391	74	8	473	—	473
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	391	74	8	473	—	473
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	27	△18	△3	6	—	6

(注) 1. 報告セグメントの利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と合致しております。

2. その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 1
	不動産 事業	アパレル 事業	ウェアラブ ル事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	108	47	9	166	—	166
その他の収益(注) 2	229	—	—	229	—	229
外部顧客への売上高	338	47	9	395	—	395
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	338	47	9	395	—	395
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	25	△15	△2	7	—	7

(注) 1. 報告セグメントの利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と合致しております。

2. その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。

2. 報告セグメントごとののれんに関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(のれん)

のれんに関する報告セグメント別情報

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表計上額
	不動産 事業	アパレル 事業	ウェアラブル 事業	計		
当四半期償却額	11	—	—	11	—	11
当四半期末残高	545	—	—	545	—	545

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

(のれん)

のれんに関する報告セグメント別情報

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表計上額
	不動産 事業	アパレル 事業	ウェアラブル 事業	計		
当四半期償却額	12	—	—	12	—	12
当四半期末残高	541	—	—	541	—	541

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	60百万円	49百万円
のれん償却額	11	12